

ジオパークガイド養成講座2021 8コマ目 受講者回答集

設問2 三好ジオパーク構想が現在抱えている課題等を解決するために自分ができること

## 受講者1

「古きを温め、新しきを知る」ことが観光分野においても非常に重要な要素と考えるため、新しいものを取り入れず、古い慣習、旧態依然として習わしに従うだけは衰退しかもたらさないと考える。都市部から移住して6年になるが、この地域の閉鎖性や物事に対する進取の精神の無さは、痛感する日々であった。時間がかかったが、一から新しいものを地域に落とし込む作業がある程度形作られてきたため、三野町独自の観光発信に今後は取り組みたいと考える。

## 受講者2

日本の成り立ちの痕跡を見ることができるというのはジオパーク共通の経験であるため、三好ジオパークが「世界で唯一」と語る力が弱いこと。また、日本国内の主要都市からのアクセス手段の少なさ・所要時間の長さも問題だと思います。三好市単体で対外プロモーションを頑張るのではなく、日本のジオパーク同士で協力・協働・連携して、「ジオパークで知る日本 ゴールデンルート」を造成し、(直接的には)旅行会社に訪日ツアー日程の一部として売ってもらうことが可能だと考えます。三好市オフィシャルツアー以外ではできない内容を含むことでアピール力が高まります。

ツアー造成のために必要なインバウンド向けの施設・準備や組み合わせる近隣観光の内容や必要準備のためのアイデア出しに協力、パイロット版やモニターツアーの実施にも協力できると思います。

こうして造成したツアーは、もちろん日本人にもアピールするものになります。

誰か(地元の生活)を犠牲にしない、訪問者を受け入れる体制・施設があり、保全と両立できる活用方法としてのツーリズム(そのためには経済は重要)を確立するために、このコロナ禍の期間を有効活用していただきたいです。

基本的に、地元の住民が愛着・誇りをもって主導していない観光地は魅力に欠けます。子供たちはもとより、全世代の住民の方への啓蒙活動と協働は続けていただきたいです。(土地の方の、ボランティアという名の犠牲に期待しない仕組みが必要です。)

### 受講者3

旧三好郡は、現在三好市と東みよし町に分かれています。そこで、私は東みよし町の住民だから思うのですが、東みよし町のエリアが三好ジオパーク構想のエリアから外れているのが残念です。このことを東みよし町の役場行政がどのように思っているのかは全く不明です。東みよし町のジオ関係の現場についても、三好市地域との並びで考えることは一応可能ではあります。ただ、我が町当局の取組みを見ていると、ジオではなくて普通の観光や生活関連の現場への案内も十分ではない感じがしています。

以上のことを考えた時に、我が町も三好市と多少なりとも関係を持って、このジオ活動方面の連携をしてくれれば有り難いと思っています。

このことの解決について、自分自身が何かできるとすれば、ジオガイド活動の一環に東みよし町のサイトを捜し出して勉強するなど何らかの発信をすることだろうと思われま

#### 受講者 4

三好市だけの問題ではありませんが、日本のほぼどの地域にも当てはまるのは、高齢・少子化にともなう人口減少が顕著になり始め、結果とし税収入が減り、県、市、町村が運営できなくなるということです。すでに三好市は合併して今の市政を運営していると思いますが、2100年には、日本の総人口、高齢人口の割合と指導力のないままできたツケがどんどん出てくるのは明らかです。ジオパーク運営の予算の補助は県レベルだと思うのですが、三好市ジオパークがスタートして運営を確保するのは困難だと思います。ジオパークとツーリズム特に海外からのインバウンドの観光客の誘致は重要だと思います。しかし、コロナのパンデミックスからの回復で徐々にインバウンドが戻ってくるとしても、日本の観光地域の中でアピールして行くためにはチーム三好として様々な人々の協力が必要になってきます。素晴らしいのは三好ジオパークのすでに持っている景観、観光資源、自然、文化遺産があることです。それらをどのように活用して、観光の動線、交通の簡便さ、地元の受け入れ体制がとても大事です。

私たちツアーガイドであり、ジオガイドでもあるので、ジオパークの素晴らしさを海外のお客様に自分の発信手段を通して伝え、観光客として誘致していきジオパークのツーリズムに貢献して行くことです。私のような外部者でもこのジオパークの素晴らしさに魅惑されているのですから、内部、外部問わずチームとして、個の力を束ねて小さな力も団結することによって発信力を高めていきたいです。

人口減少を食い止めるのは難しいですが、魅力ある地域、活力のあるところには今の時代は国内移住してきています。その様な住みやすい地域として都会の生活から変化を求めているエコに敏感な知識層を取り入れる働ができたらと思います。

## 受講者5

三好ジオパークの現在抱える問題や課題。それを解決するために自分として、何ができるか？という設問ですが、詳しいことは分からないですし、的外れなことを言っているかもしれませんが、自分なりの考えを4つほど述べても見たいと思います。

一つ目は、「持続可能な地域づくり」ということですが、今全国で言われている少子高齢化や限界集落、消滅集落など特に三好市では顕著な傾向にあると思います。いかに後継者をつくり、地域を存続させていくかという問題です。しかし、これは個人ではなく国や行政、地域全体の問題だと思います。地方では、若者の働く場所少なく都会へ流失している問題で、企業の工場を地方に分散してもらったり、米の値段を上げて米作りによって、地元で生活が成り立っていけるような政策ができないものかと個人的には思います。ジオパーク活動を通じて経済が活発となりそれによって生活が成り立っていければ一番良いと思いますが、これからの課題だと思います。

二つ目は、ジオパークサイトの活用と保全の問題があるかだと思います。観光ツーリズムでの活用として、まだまだ発信力が必要だと思いますし、観光の目玉商品の企画や開発も必要だと思います。そして、観光地やジオサイトの看板などの充実も必要です。また、それにとまなうガイドの養成も大切だと思います。

三つ目の問題として、教育プログラムの確立と地域のジオパークへの盛り上がりが必要かだと思います。学校教育では、今ジオ活動は学校単位や単年度で行われていますが、これを、行政から教育委員会で学校の教育の一環として防災教育とともに、持続的に取り組んで行くことをしたらいいと思います。小さいころより地域の魅力を知っていれば、将来、故郷を離れることがあっても、地元愛に繋がって行くと思います。また、地域住民の方にも、自然災害やジオサイトの魅力を発信し、気付いてもらうことにより、地元を誇りに思ってもらい地元愛を育んでもらえると思います。そうすることで、ジオパークに関心を持ち応援してくれる土壌が出来て盛り上がりも出てくるのではと思います。

四つ目の問題として、三野町の飛び地と東みよし町との連携問題があると思います。これも、行政や地元地域としての難しい問題だと思います。隣町にもジオパークに関心を持たれている人も沢山いらっしゃると思います。そういった関係者との繋がりを深くして、草の根から盛り上げて行く活動も大切かとも思います。

上記のことがらについて、自分が協力できることは、積極的に取り組んで行きたいと思っています。

## 受講者6

① 一つ目の課題は、広報活動。ジオパーク構想・活動のよさを住民が十分理解できていない。ジオパーク構想を一人ひとりに理解してもらうことがまだまだではないでしょうか。理解できていなくても知っている、を目指したいです。市報に掲載している記事も続けられて固有名詞としては、知っている方が多くなりました。市報が一番です。しかし、目的や意義、内容などをすべてが理解できてはいないと思います。無関心・他人事というより、知らない、のだと思います。もし、読んだら、サポーターになってどんなことをするのか、始めたい人もいると思います。

② 二つ目の課題は、住民の盛り上がり 周知できたとして、住民が良いと感じ、進めたいという盛り上がりはどう作るか、住民から自然発生のボトムアップは難しい、と思います。今のように、推進室・観光課など広く連携して主体的にリーダーシップをとって行ってほしいです。さらに、「住民の盛り上がりをつくることのできる・・・仕掛け」を作っていくことにも配慮してほしいです。旧山城町での戦国さんとのコラボ体験は貴重でした。山城町はいろんな団体がボランティア活動に積極的で、継続的ですごいと思います。池田の旧町内でも活動があると思うのですが、顕在化できていないし掘り起こしも必要だと思います。

課題を解決するために、自分ができる事があれば・・・正直、自分の力の無さを痛感しています。

① 一つ目の課題 良さを分かってもらう に対して

市内の希望者に限定して、ジオガイドの会として市街地ツアー等の無料体験の企画について

本年度、住友さんの発案で、ジオガイドマルシェ開催の企画に繋がりました。地域の宝物としての大地・自然・歴史のおもしろさ・良さを五感で体験してもらえる企画・体験の機会は貴重です。これからも続けていけたらと思います。それが、持続可能な地域の存続につながることも肌で感じてもらえるようにすることも今後の課題です。体験した人が次に伝え・広げてくれる大きな広報官の存在になってくれると有難いです。そして、若者にガイドのバトンを渡す日が来ることも喫緊の課題であり、やりがいのある取組です。

② 二つ目の課題 住民の盛り上がり に対して

住民の盛り上がりをどう作るか、住民の活動団体の把握、活動状況の掘り起こしについて

ボランティア団体を把握して、ジオパークにつながる活動を一緒に取り組んでいく。私は、池田中学校区の学校支援ボランティア事業の池田中学校区のコーディネーターをしている関係上、学校との関わりの中で、池田城の清掃活動に取り組んでいます。意識づけとして、幼・小・中に向けての取り組みです。今後、早く教育課程に位置づけできるようになることが必要だと思っています。また、小学校近くの5戸の住民で7月にめえめえ隊を結

成して、清掃作業に取り組んでいます。

自分ができる事として、立て札一つでも広報になる！ジオパーク活動への誘いかけということで、少しの予算を付けてもらって、ジオサイト等の看板づくり・「手作りでもいい」をしては、どうでしょうか？ 看板を立てたら、「ジオサイト」という文字が目に入る。目立つところにジオサイトの看板を多く建てる といいと思います。住民は高齢者が多いので、インターネットでの啓発はとどかないことが考えられます。面白そう、どんなのかなあ、と興味を持ってくれると思います。ジャンパーを着て歩いていると、気 に留めて声をかけてもらうことが多いですから。そういう意味で、自分は、ボランティアの活動にはジャンパーを着て参加しています。



## 受講者7

高齢化と人口減少、それに伴う財政の先細りなどがやはり大きな課題だと思います。ジオパーク構想を将来に渡っても継続していくためには、引き継いでいく人材、それも新世代人口の増加が必須で、且つ、それを支える財政・収益も必要条件です。三好市では4つの部会から構成される推進協議会の体制をつくり、学校教育から地域住民も加わった生涯教育・広報活動、そしてジオ・エコ・カルチュラルサイトを総合的に組み合わせた魅力的な観光振興まで、課題の解決に向けて着実に計画を進めています。即ち問題解決に向けて大いに検討中と思いますが、唯、ここでの設問は、上述の課題を解決するために、私自身に何が出来るかを問われています。これについては県外在住者である私には、出来ることが限られますが、些細なことでも、それでも何が出来るか、以下、箇条書きしてみます。

① まずは三好ジオパークの応援者・サポーターとして自ら三好市を訪れたい。現場を知ること、観光客の視点から楽しむことを通して、より深く理解し、僅かでも貢献出来ればと思う。

② 次に私の廻りの人に話したい。三好市・四国の事、ジオパーク観光について、更には日本ジオパーク構想や世界のジオパーク、人の生活と場所の歴史と文化及び土地の地形・地質とが繋がっていることの驚きや知ることの意味、即ち、自分自身の生活や人生の立ち位置を想う要点の一つで、その継続が我々の未来に繋がるということなどを伝えたい。

③ そして、現在、私が関わっている国際親善交流・ガイドのボランティア活動に今回気づいた事を生かし、より多くの在日・来日外国人にジオパークを話、神奈川県・四国・日本のジオ・エコ・カルチュラルサイトの魅力を伝えたい。その中の僅かでも三好を訪れてもらえればと願う。

上記のことから、些細で僅かとはいえ、より多くの人に知ってもらい、かつ回りまわってジオパーク構想自体の収益を生む仕掛けに繋がればと期待したい。